

～共にうめいてくださる聖霊～

前回、パウロが聖霊に止められ、世界宣教に導かれた事を学びました。しかし、大きな問題に直面するとき、何を神様が求めておられるのか知ろうとしても、自分の願いが見えるばかりで、どう祈っていいかわからないことが多いのではないのでしょうか。

パウロのようにキリストのかたちの像にきよめられたいと願っても、私たちは行き詰まって、一歩も前に進めないと悩んでしまうのです。しかしご聖霊は、その私たちの苦しみ、うめ魂のうめ呻きを聞いて、共に呻き、執りなし、導きを与えて下さいます。

今日の聖書の学びの要点

- ・ご聖霊は私たちの魂の叫び、呻きを聞いて下さり、ご聖霊自身が私たちと共に深い呻きをもって祈ってくださり、神の最善に導いてくださる。

I、自我が砕かれる

1、パウロの歩みから、彼がご聖霊に導かれて、変えられていく過程を見ていきましょう。

- ①律法に生き、キリストなしの義を求めていた。(使徒 22 : 1～5)
- ②ダマスコ途上で、復活の主が彼に顕れて下さった。(使徒 22 : 6～11)
- ③キリストの証人と召された。(使徒 22 : 12～16)
- ④アラビヤでの主から訓練を受けた(ガラテヤ 1 : 16～17)

2、パウロの内面の取り扱いについても、見ていきましょう。

- ①パウロの自分に対する評価・・・ I テモテ 1 : 15

②本当の自分の姿に対する告白・・・ローマ7:15～24

③いのちの御霊の原理が開かれた・・・ローマ8:2、ガラテヤ2:20

Ⅱ、ご聖霊の呻き

1、聖霊が呻^{うめ}いて下さると言いますが、呻^{うめ}きとはどのような状態でしょうか。（ローマ8:26）

※「呻く」は、自分ではどうも出来ない苦しさのあまり、低い声をもらすこと。
声としては、動物が低く唸^{うな}る。例えば「番犬がウ～と唸^{うな}る」など、怒りや苦痛などの感情が音となって発声する音に似ている。

「呻^{うめ}く」は「唸^{うな}る」に比べて苦痛や悲しみの感情を表す程度が強い。

2、私たちが呻^{うめ}くときとは、どのようなときでしょうか。

*「主の前に自分は醜い、自我に死んでいない、変えられたい、きよめられたい」と願いつつも、一歩も進まない。成長しない。行き詰まる時。

3、私たちの魂が呻^{うめ}くとき、ご聖霊はどうされるのでしょうか。

①ご聖霊が私たちと共に呻^{うめ}いて下さる。

②呻^{うめ}きと共に祈り出すとき、ご聖霊はさらに働いて私たちを根底から変えてくださる。